

江東自転車エコライフ通信 223号

ゆっくり じっくり 地元江東区を走ろう 身体が喜ぶぞ！

◇ 江東エコリーダー養成講座 OB会・江東自転車エコライフの会 江東区千田 13-10

第223回 楽しく自転車で走る会 (24.9.22)

能登半島の豪雨の中心配しながら、江戸時代、筏で木材を栃木から深川まで運んだ巴波川のある栃木。明治維新で県庁が造られた栃木・蔵の街を散策した。史跡が集中しているので、自転車ではなく、歩いた。

駅前で山本有三碑を見て、名物・武平作だんごを味わい、巴波川を上り、蔵の街遊覧船船着場に。

船頭さんの名調子を聞きながら、栃木から深川への筏の材木運搬の巴波川を楽しんだ。舟から鯉に餌をあげると、沢山の鯉が舟に並走し楽しんだ。

筏で栃木と深川をつないだ巴波川



東武鉄道栃木駅



栃木駅前・山本有三碑



先ず駅前の武平作だんごを味わう



巴波川を歩く



巴波川遊覧船



蔵の街遊覧船に乗りました



舟が出るぞう！



船頭さんの名調子を聞きながら



舟に並走する鯉に餌を



蔵の街・塚田歴史伝説館



三味線おばあさんの解説



後に組み木材を運んだ当時の深川地区



銘木の展示



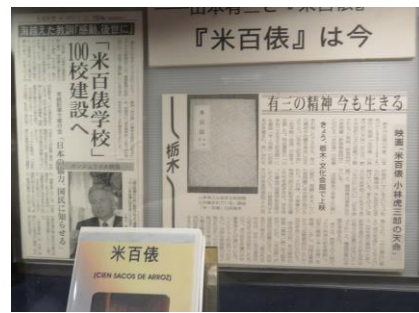
まちの駅コエド市場



栃木おやこ劇場



とちぎ山車会館



山本有三ふるさと記念館



とちぎ歌麿館「深川の雪」

次に、蔵の街塚田歴史伝説館で、江戸時代後期木材回漕問屋を営んでいた塚田家の歴史館を。当時は木材を筏に組んで、巴波川を経由して江戸深川木場まで、3日3晩かかって運んだという。当時の地図や銘木等が展示されていた。そこを出て、まちの駅コエド市場で土産を買い、隣のとちぎおやこ劇場・蔵屋敷、とちぎ山車会館で山車を楽しみ、山本有三ふるさと記念館に。有三の精神今も生きる『米百俵』の展示などを見、とちぎ歌麿館で「深川の雪」等の解説を聞き、栃木駅に。歴史ある栃木をゆっくり歩いて今回の走る会は、フィナーレとなった。

2. 参加者の言葉から

- ・ 午前中の雨は栃木では上がって、日差しも差し込む散策日和。巴波(うずま)川の遊覧船、群れをなした鯉の歓迎を受け昂奮、かつては深川まで運搬したとか。中山道の日光例幣使街道の途中宿場町の栃木宿が今の蔵の街として残っており当時の賑いが想い浮かべさせられた。
- ・ 歩いての楽しい遠足、雨にも合わず、お団子がおいしかったな～。散策の遠足・勉強会・・・
- ・ 豪商の塚田歴史伝説館の蔵の内部を見学、この巴波川から荒川を通り、我が街の小名木川を経て木場へ木材を運んでいたとの事、何か因縁を感じた。
- ・ 歴史豊かな小江戸と呼ばれる栃木市ですが、シャッターを下ろした商店も多く見受けられ寂しい感も。観光的景観においても残念、どうにかならないのかとの思を馳せる。

3. 第42回江東区民祭り 10月19(土)、20日(日) 木場公園